

事業実施主体等取組評価報告書（産地競争力の強化に向けた整備事業）

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分①		政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						作物等区分②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						事業内容	事業費	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価					
				(対象作物・畜種等名)①	政策目標①			計画時(平成20年)	1年後(平成22年)	2年後(平成23年)	3年後(平成24年)	目標値(平成24年)	達成率				成果目標の具体的な実績①	(対象作物・畜種等名)②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	計画時(平成20年)	1年後(平成22年)			2年後(平成23年)	3年後(平成24年)	目標値(平成24年)	達成率				成果目標の具体的な実績②	(工種、施設区分、構造、規格、能力等)	交付金	都道府県費	市町村費
栗原市	株式会社ベジタブルファーム栗原	産地競争力の強化	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	輸入急増農産物(パプリカ)	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	【輸入急増野菜】契約取引の推進に関する目標	全出荷量又は全作付面積のうち契約取引割合を50ポイント以上増加	契約取引割合	0% (0t)	24% (29t)	40% (161t)	51% (378t)	50% (340t)	102.0%	契約取引割合が51%まで上昇した	輸入急増農産物(パプリカ)	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	加工向け出荷量の定率に関する目標	全出荷量又は全作付面積に占める加工向け出荷量を30ポイント以上に増加	加工向け出荷量取引割合	0% (0t)	76% (90t)	60% (242t)	67% (500t)	30% (204t)	223.3%	加工向け出荷量が67%まで上昇した	パプリカ後施設(超低コスト耐陰性ハウス) 育苗施設 選果室、出荷調整施設、栽培管理室、灌水・発芽室 養液栽培システム一式 冷蔵施設(シートポンプ駆動) 附帯設備一式	2,352,000,000	1,120,000,000	0	0	1,232,000,000	H22.6.30	成果目標の数値は達成したが、振算は赤字であった。生産量は概ね達成しているが冬場の暖房費が採算悪化の要因だったため、今後は暖房費の削減を第一目標とし、冬作の作付面積を減らし夏作の作付を増加させていく。	2つの成果目標がともに達成され、大震災の被害からの復旧も完了し順調に営農が継続されている。単収が目標の92%とやや低いものの、25年5月に育苗施設を増設し、夏作と冬作に最適な栽培品種構成や栽培時期への変更を行う等対策を進めているので、収益性の改善が期待できる。今後とも、普及センターや試験場の継続的支援を行い、生産技術向上や省エネ対策に取り組む必要がある
都道府県平均達成率				162.7%	総合所見	2つの成果目標がともに達成され、大震災の被害からの復旧も完了し順調に営農が継続されている。単収が目標の92%とやや低いものの、25年5月に育苗施設を増設し、夏作と冬作に最適な栽培品種構成や栽培時期への変更を行う等対策を進めているので、収益性の改善が期待できる。今後とも、普及センターや試験場の継続的支援を行い、生産技術向上や省エネ対策に取り組む必要がある																														